

平成30年度 事務事業点検シート

事務事業名	文化行政一般事務事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0132301000 - 001	
		分割/統合				
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容			
	款	総務費	事業所管課	市民生活局文化・スポーツ室文化振興課		
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607		
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 18 年度
	事業	文化行政推進事業	根拠法令・要綱等	明石市事務分掌条例、明石市事務分掌規則		
施策分野	2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興		実施方法	直営 <input type="radio"/>	補助・助成 <input type="radio"/>	その他 <input type="radio"/>
個別計画			委託 <input type="radio"/>	指定管理 <input type="radio"/>		

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	文化行政の一般管理事務を円滑に行う。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値

事業内容	<平成28年度～30年度> 文化行政の一般管理事務を行う。				

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				30年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
28決算	769	4,175	4,944	0	0	0	4,944	正規	0.31	アルバイト	0.00
29当初予算	748	4,590	5,338	0	0	0	5,338	再任用	0.00	その他	1.00
29決算	703	4,590	5,293	0	0	0	5,293	任期付	1.00	合計	2.31
30当初予算	702	8,011	8,713	0	0	0	8,713				

29年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	30年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	旅費	近接地旅費	52		100	旅費	近接地旅費
需用費	事務用品、コピー用紙等	266	280	需用費	事務用品、コピー用紙等	280	
使用料及び賃借料	コピー使用料等	266	322	使用料及び賃借料	コピー使用料等	322	
役務費	電信電話料	119					
	合計		703		合計		702

平成30年度 事務事業点検シート

整理番号	0132301000-001	事務事業名	文化行政一般事務事業
------	----------------	-------	------------

事業 の 成 果	指標名	考え方・定義・式			28年度	29年度	30年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							
文化行政の一般管理事務を効率的に執行している。							

事業 の 評 価 ・ 今 後 の 方 向 性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
限られた予算の中で、文化行政の一般管理事務を遂行している。引き続き、効果的な事務推進に努める。						

平成30年度 事務事業点検シート

事務事業名	文化芸術創生基本計画推進事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0132301000 - 002		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費		事業所管課	市民生活局文化・スポーツ室文化振興課		
	項	総務管理費		連絡先	(078)918-5607		
	目	文化振興・国際交流費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 19 年度
	事業	文化行政推進事業		根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例		
施策分野	2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興		実施方法	直営	○	補助・助成	その他
個別計画	文化芸術創生基本計画			委託		指定管理	

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	市民が文化芸術を鑑賞し、参加、創造活動に取り組むなど、文化芸術活動が盛んになるための基盤をつくる。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値

事業内容	<平成28年度> 明石文化芸術創生会議を1回開催。 実施計画(アクションプラン)の策定及び同計画に基づく事業の実施。 基本計画及び実施計画(アクションプラン)の進捗管理、評価・検証。 基本計画の中間見直し。 書道パフォーマンスを実施。
	<平成29年度> 明石文化芸術創生会議を2回開催。 実施計画(アクションプラン)を検証し七つの重点施策を設定。 実施計画(アクションプラン)の策定及び同計画に基づく事業の実施。 基本計画及び実施計画(アクションプラン)の進捗管理、評価・検証。
	<平成30年度> 明石文化芸術創生会議を3回開催予定。 実施計画(アクションプラン)の策定及び同計画に基づく事業の実施。 基本計画及び実施計画(アクションプラン)の進捗管理、評価・検証。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				30年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
28決算	3,743	3,375	7,118	0	0	0	7,118	正規	0.18	アルバイト	0.00
29当初予算	662	3,510	4,172	0	0	0	4,172	再任用	0.00	その他	0.00
29決算	275	3,510	3,785	0	0	0	3,785	任期付	0.00	合計	0.18
30当初予算	1,087	1,458	2,545	0	0	0	2,545				

29年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	30年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報酬	文化芸術創生会議委員報酬	158		報酬	文化芸術創生会議委員報酬	297
	報償費	指導謝礼	100		報償費	指導謝礼	130
	需用費	コピー用紙・消耗品代等	3		需用費	コピー用紙・消耗品代等	92
	旅費	文化芸術創生会議委員旅費	14		役務費	文化芸術創生会議等音声反訳や通信運搬費(電信電話料)	551
					使用料及び賃借料	会議室使用料	17
合計			275	合計			1,087

平成30年度 事務事業点検シート

整理番号	0132301000-002	事務事業名	文化芸術創生基本計画推進事業
------	----------------	-------	----------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			28年度	29年度	30年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							
明石文化芸術創生基本計画に基づく、実施計画を作成し、文化の息づくまちづくりを推進するために具体的な事業を展開している。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>明石文化芸術創生基本計画に基づきアクションプランを作成し、第3者機関である明石文化芸術創生会議にて評価・検証を行った。</p> <p>また、平成28年度から実施している明石文化芸術創生推進会議では、明石市、明石文化芸術創生財団、指定管理者の三者で明石市の文化芸術振興を行うための方向性やそれぞれの特性を生かした事業を協議した。</p> <p>協議の結果、7つの重点項目（次世代育成への取り組みの強化、創造活動の促進・先端的な芸術文化の創造事業と発信拠点の創出、他分野との連携と応用・観光との連携の強化、伝統文化の継承と発展の拡充・歴史文化のさらなる活用、参加・発表機会の充実・市民参加型事業の継続推進、情報収集・発信の強化情報発信力の評価と訪日観光への対応、コーディネート機能の充実）に則し、事業を推進していくこととなった。</p>						

平成30年度 事務事業点検シート

事務事業名	芸術祭等開催事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0132301000 - 003				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	総務費	事業所管課	市民生活局文化・スポーツ室文化振興課					
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607					
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 46 年度			
	事業	文化芸術振興事業	根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例					
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法	直営		補助・助成		その他	
	2-4 文化芸術の振興			委託	○	指定管理			
個別計画	文化芸術創生基本計画								

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	市民の文化芸術活動を支援することにより、市民が文化芸術を鑑賞し、参加し、創造活動に取り組む機会を提供し、もって本市の文化芸術活動の一層の振興を図る。また、次世代への文化の継承や文化に触れる機会を提供する。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
明石市芸術祭への参加人数	明石市芸術祭各事業の参加人数	平成30年度	人	9500	

事業内容	<平成28年度>	
	① 市芸術祭	明石吹奏楽の夕べ、明石ステージアート2016、民謡・民舞と邦楽のつどい いけばな展(こどもいけばな体験も合わせて開催) 音楽のつどい、茶会(親子茶道体験も合わせて開催)、美術展を開催 明石市芸術祭への参加者数 8,500人
	② 明石現代作家展	明石市美術展審査員・実行委員による作品展を開催。 ③ 文化芸術活動を行う団体に対して、明石文化芸術創生財団を通じて、助成を行った。
	<平成29年度>	
① 市芸術祭	<ul style="list-style-type: none"> ・明石吹奏楽の夕べ…………… 8月27日(日)市民会館大ホールで開催。 ・明石ステージアート2017…………… 10月22日(日)市民会館大ホール(台風のため中止) ・茶会…………… 10月28日(土)生涯学習センターで開催。 ・邦舞・邦楽のつどい…………… 10月29日(日)生涯学習センター子午線ホールで開催。 ・音楽のつどい…………… 11月3日(金・祝)市民会館大ホールで開催。 ・いけばな展…………… 11月4日(土)～5日(日)生涯学習センターで開催。 ・美術展…………… 前期:11月15日(水)～19日(日)、後期:22日(水)～26日(日)文化博物館で開催。 明石市芸術祭への参加者数 7,645人	
② 明石現代作家展	明石市美術展審査員・実行委員による作品展。平成30年3月7日(水)～12日(日)文化博物館で開催。	
③ 文化芸術活動を行う団体に対して、明石文化芸術創生財団を通じて、助成を行った。		
	<平成30年度>	
① 市芸術祭	<ul style="list-style-type: none"> ・明石吹奏楽の夕べ…………… 8月19日(日)市民会館大ホールで開催予定。 ・ダンスアート舞…………… 10月21日(日)市民会館大ホールで開催予定。 ・茶会…………… 10月27日(土)生涯学習センターで開催予定。 ・民謡・民舞と邦楽のつどい…………… 10月27日(土)生涯学習センター子午線ホールで開催予定。 ・音楽のつどい…………… 11月3日(土・祝)市民会館大ホールで開催予定。 ・いけばな展…………… 11月3日(土)～4日(日)生涯学習センターで開催予定。 ・美術展…………… 前期:11月14日(水)～18日(日)、後期:21日(水)～25日(日)文化博物館で開催予定。 ②文化芸術活動を行う団体に対して、明石文化芸術創生財団を通じて、助成を行う予定。 ③ 東播磨活動関連	

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				30年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
28決算	7,400	9,775	17,175	0	0	0	17,175	正規	0.18	アルバイト	0.00
29当初予算	7,200	810	8,010	0	0	150	7,860	再任用	0.00	その他	0.00
29決算	6,450	810	7,260	0	0	150	7,110	任期付	0.00	合計	0.18
30当初予算	7,200	1,458	8,658	0	0	150	8,508				

29年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	30年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	委託料	明石市芸術祭等開催委託	6,450			委託料	明石市芸術祭等開催委託
	合計		6,450		合計		7,200

平成30年度 事務事業点検シート

整理番号	0132301000-003	事務事業名	芸術祭等開催事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			28年度	29年度	30年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	明石市芸術祭への参加人数	明石市芸術祭各事業の参加人数			8,500	9,500	
		平成30年度	人	9500			
指標で表せない成果							
芸術祭をより充実させることによって市民の芸術にふれる機会をふやし、市民の生活に潤いをあたえている。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>芸術祭は、各文化団体の日頃の活動の発表の場を提供するとともに様々な分野への参加や鑑賞することで文化意識の向上を図ることが出来る実施必要性が高い事業である。</p> <p>平成28年度は「茶会」と「民謡・民舞と邦楽のつどい」を同日に開催することで、相乗効果を目指し、団体間の交流や市民へ文化芸術への参加の拡充を図った。</p> <p>また、平成23年度から「いけばな展」においては“こども体験教室”、「茶会」においては“親子茶道体験”を実施。24年度から「美術展」においては“ジュニアの部”を創設、「音楽のつどい」においては中学校まで出演者の枠を広げるなど、こども達が体験し、また日頃の成果を発表できる場を提供している。</p> <p>今後も若年層の文化芸術への参加を促進するとともに、各事業内容や予算等を精査しながら費用削減についても検討する。</p>						

平成30年度 事務事業点検シート

事務事業名	文芸祭開催事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0132301000 - 004		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費		事業所管課	市民生活局文化・スポーツ室文化振興課		
	項	総務管理費		連絡先	(078)918-5607		
	目	文化振興・国際交流費		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 49 年度
	事業	文化芸術振興事業		根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例		
施策分野	2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興		実施方法	直営	補助・助成	その他	
個別計画	文化芸術創生基本計画			委託	○ 指定管理		

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	市民の文芸に対する関心と認識を深め、創作意欲の向上や創作活動へのきっかけづくりを図るとともに、文芸作品の発表の機会を提供する。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	応募人数	作品の応募人数(一般・ジュニア含む)	平成30年度	人	6500

事業内容	<平成28年度>	
	自由作品(俳句、川柳、短歌、詩、随筆、小説、児童文学の7部門)を募集し、優秀作品を賞するとともに、作品集「ことのはものがたり」を作成。 優秀作品を市ホームページに掲載し広く市民に公表。作品集、表彰式のさらなる充実を図った。 中学生以下については、小学生低学年の部、小学生高学年の部、中学生の部の3部門で募集。 応募人数 6,121人 応募作品数 11,522点。	
	<平成29年度>	
事業内容	自由作品(俳句、川柳、短歌、詩、随筆、小説、児童文学の7部門)を募集し、優秀作品を賞するとともに、作品集「ことのはものがたり」を作成。 優秀作品を市ホームページに掲載し広く市民に公表。 中学生以下については、小学生低学年の部、小学生高学年の部、中学生の部の3部門で募集。 応募人数 6,638人 応募作品総点数 7,389点	
	<平成30年度>	
	自由作品(俳句、川柳、短歌、詩、随筆、小説、児童文学の7部門)を募集し、優秀作品を賞するとともに、作品集「ことのはものがたり」を作成予定。 優秀作品を市ホームページに掲載し広く市民に公表。 中学生以下については、小学生の部、中学生の部の2部門で募集。	

事業のコスト (単位: 千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				30年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
28決算	1,920	2,160	4,080	0	0	0	4,080	正規	0.18	アルバイト	0.00
29当初予算	1,930	810	2,740	0	0	420	2,320	再任用	0.00	その他	0.00
29決算	1,920	810	2,730	0	0	409	2,321	任期付	0.00	合計	0.18
30当初予算	1,920	1,458	3,378	0	0	420	2,958				

29年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	30年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額	
	委託料	文芸祭開催委託	1,920		委託料	文芸祭開催委託	1,920	
合計			1,920	合計			1,920	

平成30年度 事務事業点検シート

整理番号	0132301000-004	事務事業名	文芸祭開催事業
------	----------------	-------	---------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			28年度	29年度	30年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	応募人数	作品の応募人数(一般・ジュニア含む)			6,121	6,500	
		平成30年度	人	6500			
指標で表せない成果							
文芸祭の実施により、市民及び子供たちの文芸に対する関心と認識を深め文芸作品への市民の文化意識の一層の向上をはかる。日頃から創作活動に取り組んでいる市民には日頃の成果の発表の場となる。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
				×		
現状の課題・今後の事業展開方針等						
文芸祭は“文化の息づくまちづくり”の一環として文芸に対する関心を深め創作のきっかけづくりとなっている。応募人数の増加を受け、平成27年度からは中学生以下でまとめてジュニアの部として募集していたものを、小学生低学年の部、小学生高学年の部、中学生の部の3部門に増やし、応募しやすい条件に変更し、より一層子ども達の創作意欲を高め、励みとなるよう実施した。今後も子ども達の文芸活動への参加を促進するとともに、予算や実施方法等をさらに精査し費用削減に努める。						

平成30年度 事務事業点検シート

整理番号	0132301000-005	事務事業名	佐渡裕指揮 兵庫芸術文化センター管弦楽団公演		
------	----------------	-------	------------------------	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			28年度	29年度	30年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	公演鑑賞者数	公演の鑑賞者数			1,008	1,200	1,200
		平成30年度	人	1200			
指標で表せない成果							
佐渡裕氏が子どもたちへ音楽指導を行うことで、音楽の楽しさや素晴らしさを感じてもらい、音楽文化のすそ野拡大、次世代育成に繋がっている。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>佐渡裕氏指揮による公演は、市民にとって質の高い文化芸術に触れ親しむ機会を提供する貴重な事業である。</p> <p>また、佐渡氏による子ども達への音楽指導は、音楽の楽しさや素晴らしさを感じ、音楽文化のすそ野を拡大することで、次世代を担う子ども達の育成につながっている。</p> <p>今後も引き続き誰もが芸術に触れ親しむ機会の拡充を図りつつ、市費による負担のない実施方法について検討する。</p>						

平成30年度 事務事業点検シート

事務事業名	財団支援事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0132301000 - 006		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費	事業所管課	市民生活局文化・スポーツ室文化振興課			
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607			
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 24 年度	
	事業	文化芸術振興事業	根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例			
施策分野	2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興		実施方法	直営	補助・助成	○	その他
個別計画	文化芸術創生基本計画			委託	指定管理		

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	文化の息づくまちづくりを推進するため、市の文化芸術全般にわたる業務を担う明石文化芸術創生財団に対して支援を行う。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値

事業内容	<平成28年度> 明石文化芸術創生財団の運営補助を行う。 中間支援組織活動を委託する。				
	<平成29年度> 明石文化芸術創生財団の運営補助を行う。 運営補助に加えて、明石文化芸術創生財団が実施する、明石文化芸術創生基本計画に基づく事業、中間支援組織活動事業等を支援する。				
	<平成30年度> 明石文化芸術創生財団の運営補助を行う。 運営補助に加えて、明石文化芸術創生財団が実施する、明石文化芸術創生基本計画に基づく事業、中間支援組織活動事業等を支援する。				

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				30年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
28決算	25,028	2,025	27,053	0	0	0	27,053				
29当初予算	68,938	810	69,748	0	0	0	69,748	正規	0.18	アルバイト	0.00
29決算	66,600	810	67,410	0	0	0	67,410	再任用	0.00	その他	0.00
30当初予算	69,305	1,458	70,763	0	0	0	70,763	任期付	0.00	合計	0.18

29年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	30年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
		負担金補助及び交付金	財団運営補助金		66,600		負担金補助及び交付金
	合計		66,600		合計		69,305

平成30年度 事務事業点検シート

整理番号	0132301000-006	事務事業名	財団支援事業
------	----------------	-------	--------

事業 の 成 果	指標名	考え方・定義・式			28年度	29年度	30年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							
明石文化芸術創生財団が、中間支援組織としての役割を果たすことで、市民全体の文化芸術振興の基盤作りを行い、「文化の息づくまちあかし」の実現に向けた貢献を行っている。							

事業 の 評 価 ・ 今 後 の 方 向 性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
明石文化芸術創生財団は、多様な文化芸術活動の担い手の連携・協働の拠点として、ゆるやかな相互ネットワークの形成を図り、アーティストや文化団体と市民とのコーディネート、情報提供、相談などの支援を行う役割がある。 財団は文化芸術事業を実施するとともに、財団が持つ知識・ネットワークを活用して各文化団体と連携するなど、中間支援組織としてコーディネート機能を一層充実させることが求められる。						

平成30年度 事務事業点検シート

整理番号	0132301000-007	事務事業名	市民交響楽団支援事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			28年度	29年度	30年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	アウトリーチ活動の回数	定期演奏会のほかに市民にどれだけ鑑賞の機会を提供できているか。			15	15	15
		平成30年度	回	15			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
		×		×	×	
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>「音楽のあふれるまちづくり」推進において、市民交響楽団はシンボリック的存在となっており、音楽文化のすそ野の拡大や市民の芸術鑑賞機会の拡充にも貢献している。</p> <p>市民交響楽団の事務局を担っていた明石文化芸術創生財団と運営のあり方について協議し、平成27年度から「明石フィルハーモニー協会」を設立。市民交響楽団が自主運営していく体制に移行。</p> <p>これまでも市補助金を段階的に削減しているが、今後も費用削減について検討していく。</p>						

平成30年度 事務事業点検シート

事務事業名	明石薪能開催事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0132301000 - 008		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費		事業所管課	市民生活局文化・スポーツ室文化振興課		
	項	総務管理費		連絡先	(078)918-5607		
	目	文化振興・国際交流費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 1 年度
	事業	文化芸術振興事業		根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例		
施策分野	2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興		実施方法	直営	補助・助成	○ その他	
個別計画	文化芸術創生基本計画			委託	指定管理		

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	伝統芸能を継承するとともに、市民に優れた伝統芸能である薪能を鑑賞する機会を提供することにより伝統文化に親しむ機会の拡充を図る。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	入場券の販売枚数	入場券の販売枚数	平成30年度	枚	850

事業内容	<平成28年度> 9月10日(土) 第19回明石薪能を明石公園で開催。 能楽師の協力を得て事前練習を行い、明石薪能の上演に先立ち「こども仕舞」を舞台発表。 入場者数 約1,100人
	<平成29年度> 9月30日(土) 第20回明石薪能を明石公園で開催。 能楽師の協力を得て事前練習を行い、明石薪能の上演に先立ち「こども仕舞」を舞台発表。 明石文化芸術創生財団が主催する「ないと講座」において、演目について初心者向けに解説を行う「お能を楽しむための会」を実施。 入場者数 約1,000人
	<平成30年度> 9月23日(日) 第21回明石薪能を明石公園で開催予定。 能楽師の協力を得て事前練習を行い、明石薪能の上演に先立ち「こども仕舞」を舞台発表する予定。 明石文化芸術創生財団が主催する「ないと講座」において、演目について初心者向けに解説を行う「お能を楽しむための会」を実施する予定。

事業のコスト (単位: 千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				30年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
28決算	3,000	3,500	6,500	0	0	0	6,500				
29当初予算	3,000	810	3,810	0	0	0	3,810	正規	0.18	アルバイト	0.00
29決算	3,000	810	3,810	0	0	0	3,810	再任用	0.00	その他	0.00
30当初予算	3,000	1,458	4,458	0	0	0	4,458	任期付	0.00	合計	0.18

29年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	30年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額		
		負担金補助及び交付金	明石薪能開催事業補助金		3,000		負担金補助及び交付金	明石薪能開催事業補助金	3,000
	合計		3,000		合計		3,000		

平成30年度 事務事業点検シート

整理番号	0132301000-008	事務事業名	明石薪能開催事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			28年度	29年度	30年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	入場券の販売枚数	入場券の販売枚数			626	850	850
		平成30年度	枚	850			
指標で表せない成果							
伝統芸能を継承するとともに、市民に優れた伝統芸能である薪能を鑑賞する機会を提供できている。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
		×		×	×	
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>優れた伝統芸能を守り、次代へと継承していくことは、市の重要な責務であると認識している。しかし、明石公園にて組立式能舞台を用いて薪能を開催するにあたっては、毎回組立・撤去に多額の経費を必要とし、費用対効果を考えると効果的な事業運営が行えているとはいえないと考えている。</p> <p>薪能開催のあり方について、検討していく。</p>						

平成30年度 事務事業点検シート

事務事業名 東播磨文化団体連合会との共催事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0132301000 - 009			
		分割/統合						
関連 予算 科目	会計	一般会計		事業の分割/ 統合の内容				
	款	総務費		事業所管課	市民生活局文化・スポーツ室文化振興課			
	項	総務管理費		連絡先	(078)918-5607			
	目	文化振興・国際交流費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 29 年度	
	事業	文化芸術振興事業		根拠法令 ・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例			
施策分野		2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興		実施方法	直営	補助・助成	○	その他
個別計画		文化芸術創生基本計画			委託	指定管理		
事業 の 目的 ・ 目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）							
	東播磨・北播磨各地域で活動している文化芸術団体に対し、発表と交流の場を提供するとともに、地域住民に優れた芸術文化に触れる機会を提供し、東播磨・北播磨地域の文化芸術の振興を図る。							
	成果指標							
	指標名	考え方・定義・式		目標年次	単位	目標値		
	公演鑑賞者数	公演の鑑賞者数		平成30年度	人	300		
事業 内容	北播磨・東播磨の8市3町（明石市・加古川市・高砂市・三木市・小野市・西脇市・加西市・加東市・稲美町・播磨町・多可町）の文化団体連合会で構成される東播磨文化団体連合会が事業主体。コーラス大会、みんよう大会、芸能祭、選抜美術展、大茶会等の開催を各市町持ち回りで開催している。							
	平成29年度「東はりまみんよう大会」 開催日：平成30年1月28日（日） 会場：市民会館大ホール 平成30年度「第38回東播磨選抜美術展」 開催日：平成31年3月8日（金）～3月10日（日） 会場：明石市立文化博物館							

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				30年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
28決算	0	0	0	0	0	0	0				
29当初予算	350	810	1,160	0	0	0	1,160	正規	0.18	アルバイト	0.00
29決算	350	810	1,160	0	0	0	1,160	再任用	0.00	その他	0.00
30当初予算	290	1,458	1,748	0	0	0	1,748	任期付	0.00	合計	0.18

29年度 決算 事業費 明細	区分（節）	内容	金額	30年度 当初 予算 事業費 明細	区分（節）	内容	金額
		負担金補助及び交付金	東はりまみんよう大会 負担金		350		負担金補助及び交付金
	合計		350		合計		290

平成30年度 事務事業点検シート

整理番号	0132301000-009	事務事業名	東播磨文化団体連合会との共催事業
------	----------------	-------	------------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			28年度	29年度	30年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	公演鑑賞者数	公演の鑑賞者数				1,200	
		平成30年度	人	300			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
事業内容については東播磨文化団体連合会にて開催年度、時期を含めて決定している。						

平成30年度 事務事業点検シート

事務事業名	姉妹都市交流推進事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0132301000 - 010				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	総務費		事業所管課	市民生活局文化・スポーツ室文化振興課				
	項	総務管理費		連絡先	(078)918-5607				
	目	文化振興・国際交流費		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 43 年度		
	事業	姉妹都市交流事業		根拠法令・要綱等	姉妹都市提携				
施策分野	4 生活・環境分野		実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成		その他	
	4-6 都市間交流・国際交流の推進			委託	<input type="radio"/>	指定管理			
個別計画									

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	市民、アメリカ合衆国バレホ市民 市民同士の継続的な交流事業や相互訪問などを通じて相互理解と友好、親善を深めるため、バレホ市と必要な連絡調整を行う。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値

事業内容	<平成28年度>	
	・ミラー夫妻が明石市を訪問。 人数:2人 期間:平成28年4月25日～5月7日(13日間)	
	<平成29年度> 市民や関係者が訪問した際の相互受け入れなどのほか、姉妹都市提携50周年記念事業についての連絡調整を行った。	
	<平成30年度>※姉妹都市提携50周年	
	・明石市公式訪米団派遣	人数: 8人 期間:平成30年8月16日～21日
	・明石市青少年ジャズダンス訪米団派遣	人数: 24人 期間:平成30年8月17日～23日
	・バレホ市親善交流団受入	人数: 21人 期間:平成30年7月13日～17日
	・姉妹都市提携50周年記念祝賀会開催	人数:186人 平成30年7月14日

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				30年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
28決算	108	2,835	2,943	0	0	0	2,943				
29当初予算	130	5,670	5,800	0	0	0	5,800	正規	1.81	ｱﾙﾊﾞｲﾄﾞ	0.00
29決算	3	5,670	5,673	0	0	0	5,673	再任用	0.00	その他	0.00
30当初予算	15,940	16,011	31,951	0	0	0	31,951	任期付	0.50	合計	2.31

29年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	30年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	通訳謝礼	0		報償費	通訳謝礼	30
	役務費	文書翻訳料等	3		役務費	文書翻訳料等	210
					旅費	訪米旅費	3,200
					委託料	受入・派遣事業業務	10,500
					負担金補助及び交付金	青少年交流団派遣補助金	2,000
合計			3	合計			15,940

平成30年度 事務事業点検シート

整理番号	0132301000-010	事務事業名	姉妹都市交流推進事業		
------	----------------	-------	------------	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			28年度	29年度	30年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							
バレホ市との連絡調整がスムーズに進み、相互理解が深まっている。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>姉妹都市交流事業は、これまで約50年間にわたり明石市と米国バレホ市の市民による交流を主体として実施してきた実績がある。バレホ市へ市内中高生を派遣し現地でのホームステイ体験や異文化交流など、子どもたちに国際感覚を身に着ける機会を提供できるのも、明石市とバレホ市が姉妹都市提携を結んでいることの成果と言える。</p> <p>平成30年度に迎えた姉妹都市提携50周年を契機として、市民間交流を柱とした事業を実施するものとする。</p>						

平成30年度 事務事業点検シート

事務事業名	友好都市交流推進事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0132301000 - 011				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	総務費		事業所管課	市民生活局文化・スポーツ室文化振興課				
	項	総務管理費		連絡先	(078)918-5607				
	目	文化振興・国際交流費		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 56 年度		
	事業	友好都市交流事業		根拠法令・要綱等	友好都市提携				
施策分野	4 生活・環境分野		実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成		その他	
	4-6 都市間交流・国際交流の推進			委託	<input type="radio"/>	指定管理			
個別計画									

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	市民、中国無錫市民 友好都市無錫市との継続的な市民間交流や両市公式団による相互訪問などを通じて両市の相互理解と友好、親善を深める。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値

事業内容	<平成28年度> ※友好都市提携35周年				
	・友好都市提携35周年記念式典・祝賀会(明石市) 実施日:平成28年5月10日				
	・無錫市友好交流団 人数:9人 期間:平成28年5月10日(1日間)				
	・明石市青少年選抜吹奏楽訪中団 人数:中高中生60名、引率者 計70名 期間:平成28年8月15日～19日(5日間)				
	・友好都市提携35周年記念式典・祝賀会(無錫市) 実施日:平成28年8月29日				
	・明石市友好訪中団 人数:3人 期間:平成28年8月28日～31日(4日間)※35周年記念式典出席				
	・明石市友好訪中団 人数:3人 期間:平成28年11月1日～3日(3日間) ※無錫市国際友好都市交流会出席				
	・無錫市友好訪問団 人数:6人 期間:平成28年11月11日～12日(2日間)				
	・無錫市研修生 人数:4人 期間:平成29年1月11日～21日(11日間)				
	・無錫市友好交流団 人数:6人 期間:平成29年2月21日～23日(3日間)				
・明石市友好訪中団 人数:3人 期間:平成29年3月27日～29日(3日間)					
	<平成29年度>				
	・無錫市青少年サッカー交流団 人数:10人 期間:平成30年2月2日～6日(5日間)				
	・無錫市友好交流団 人数:7人 期間:平成30年3月16日～17日(2日間)				
	・明石市友好訪中団 人数:3人 期間:平成30年3月27日～29日(3日間)				
	<平成30年度>				
	・無錫市環境施策交流団 人数:5人 期間:平成30年4月23日～25日(3日間)				
	・無錫市健康産業交流団 人数:5人 期間:平成30年6月21日～22日(2日間)				
	・明石市青少年サッカー交流団 人数:24人 期間:平成30年8月16日～20日(5日間)				
	・無錫市楊名小学校吹奏楽交流団 人数:57人 期間:平成30年8月21日(1日間)				
	・明石市友好訪中団 人数:未定 期間:未定				

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				30年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
28決算	11,190	8,910	20,100	0	0	0	20,100	正規	1.01	ｱｲﾊﾞｲ	0.00
29当初予算	5,990	7,560	13,550	0	0	0	13,550	再任用	0.00	その他	0.00
29決算	1,673	7,560	9,233	0	0	0	9,233	任期付	0.25	合計	1.26
30当初予算	6,545	8,856	15,401	0	0	0	15,401				

29年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	30年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	通訳謝礼	247		報償費	通訳謝礼	600
	旅費	訪中旅費	588		旅費	訪中旅費	1,692
	需用費	消耗品等	249		需用費	消耗品等	550
	役務費	筆耕翻訳料等	34		委託料	受入・派遣事業等委託	3,100
	委託料	受入事業委託	490		使用料及び賃借料	ホテル使用料	500
	使用料及び賃借料	ホテル使用料	65		その他	役務費(電信電話料・筆耕翻訳料)等	103
	合計				1,673	合計	

平成30年度 事務事業点検シート

整理番号	0132301000-011	事務事業名	友好都市交流推進事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			28年度	29年度	30年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							
無錫市との連絡調整がスムーズに進み、相互理解が深まっている。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>友好都市・中国無錫市とは、これまで35年間にわたり文化・スポーツによる市民間交流をしてきた実績がある。今後さらなる市民間交流を進めるためにも、明石市と中国無錫市の友好交流が必要不可欠なものとなっている。</p> <p>今後も、無錫市との行政間交流及び市民間交流を推進する。</p>						

平成30年度 事務事業点検シート

事務事業名	国際交流推進事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0132301000 - 012		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計					
	款	総務費					
	項	総務管理費					
	目	文化振興・国際交流費					
	事業	国際交流事業					
施策分野	4 生活・環境分野	事業所管課	市民生活局文化・スポーツ室文化振興課				
	4-6 都市間交流・国際交流の推進		連絡先	(078)918-5607			
個別計画		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 18 年度		
		根拠法令・要綱等	明石市国際交流協会設立				
実施方法		直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="radio"/>	その他	
		委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	市民（在住外国人を含む）市民の国際理解を深め、多文化共生・地域国際化を推進する。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	国際交流協会会員数	国際交流についての市民への啓発が進み、国際交流に関する理解や重要性の認識が深まることにより、国際交流協会の会員数が増える。	平成29年度	人	500
	日本語学習会「いろはクラブ」開催件数	多文化共生社会が進むにつれて、国際交流協会の基幹事業である日本語学習会「いろはクラブ」をはじめとするボランティアの活動が活発になる。	平成29年度	回	1,450
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・広く市民に国際交流について普及啓蒙するとともに、幅広い国際交流を推進する。 ・国際交流促進事業（主な内容は下記①～③）を明石市国際交流協会へ委託し、多文化共生・地域国際化を進める。 ①国際交流・協力啓蒙事業（国際交流ボランティアの募集・育成 など） ②多文化共生事業（国際理解講演会、小中学校へのゲストティーチャーの派遣、日本語学習会「いろはクラブ」の開催 など） ③国際交流活動助成事業（最大5万円を市民団体に助成） 				
	<平成28年度>（3月31日現在） ①会員数599人、ボランティア登録人数延べ127人 ②ゲストティーチャー派遣、通訳・翻訳ボランティア登録者45人 日本語学習会「いろはクラブ」開催件数 年間1410回 ③国際交流活動助成 3件				
	<平成29年度>（年度末見込み） ①会員数573人、ボランティア登録人数延べ148人 ②ゲストティーチャー派遣、通訳・翻訳ボランティア登録者42人 日本語学習会「いろはクラブ」開催件数 年間1460回 ③国際交流活動助成 3件				
<平成30年度> ①会員数500人、ボランティア登録人数延べ150人 ②ゲストティーチャー派遣、通訳・翻訳ボランティア登録者50人 日本語学習会「いろはクラブ」開催件数 年間1450回 ③国際交流活動助成 3件					

事業のコスト （単位：千円）	事業費	人件費 （参考値）	総事業費 （参考値）	財源内訳				30年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
28決算	9,207	5,265	14,472	0	0	0	14,472				
29当初予算	9,380	3,780	13,160	0	0	0	13,160	正規	1.11	アルバイト	0.00
29決算	9,068	3,780	12,848	0	0	0	12,848	再任用	0.00	その他	0.00
30当初予算	9,412	9,666	19,078	0	0	0	19,078	任期付	0.25	合計	1.36

区分（節）	内容	金額		区分（節）	内容	金額
旅費	近接地旅費	6		報償費	通訳謝礼	30
需用費	消耗品費等	29		旅費	出張旅費	100
委託料	国際交流促進事業委託	1,136		需用費	消耗品費等	90
負担金補助及び交付金	国際交流協会運営補助金	7,897		委託料	国際交流促進事業委託	1,000
				負担金補助及び交付金	国際交流協会運営補助金	8,100
				その他	文書翻訳料等	92
合計		9,068		合計		9,412

平成30年度 事務事業点検シート

整理番号	0132301000-012	事務事業名	国際交流推進事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			28年度	29年度	30年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	国際交流協会会員数	国際交流についての市民への啓発が進み、国際交流に関する理解や重要性の認識が深まることにより、国際交流協会の会員数が増える。			599人	573人	500人
		平成29年度	人	500			
	日本語学習会「いろはクラブ」開催件数	多文化共生社会が進むにつれて、国際交流協会の基幹事業である日本語学習会「いろはクラブ」をはじめとするボランティアの活動が活発になる。			1410回	1460回	1450回
		平成29年度	回	1,450			
指標で表せない成果							
市民の国際交流に対する理解を深めることで、地球上には様々な国や地域、民族があり、多様な考え方を持つ人々がそれぞれの価値観に基づいて暮らしていることを理解し、お互いに尊重していこうという多文化共生社会の考え方が普及している。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>国際交流推進事業は、明石市国際交流協会に市内在住外国人への日本語学習会や国際交流ボランティアの育成等を事業委託し、多文化共生社会づくりや地域の国際化を推進している。言葉や生活習慣の違いから地域になじみにくいと感じている外国人をサポートし、地域での暮らしを支えており、地域の安全・安心にもつながっている。</p> <p>同協会は設立当初から展開してきた多文化共生事業に加え、諸外国との市民間交流を推進するため国際交流事業を実施してきたが、事業の一層の充実をめざし、組織基盤の強化を図り、運営の効率化を図るため、(公財)明石文化芸術創生財団との合流に向けて協議を進める。</p>						

平成30年度 事務事業点検シート

事務事業名	諸外国との交流事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0132301000 - 013	
		分割/統合				
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容			
	款	総務費				
	項	総務管理費	事業所管課	市民生活局文化・スポーツ室文化振興課		
	目	文化振興・国際交流費	連絡先	(078)918-5607		
	事業	国際交流事業	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 19 年度
施策分野	4 生活・環境分野 4-6 都市間交流・国際交流の推進		根拠法令・要綱等			
個別計画			実施方法			
			直営	○	補助・助成	その他
			委託	○	指定管理	

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	市民 姉妹都市・友好都市提携先以外の諸外国との国際交流を推進し、市民の国際理解を深める。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値

事業内容	<平成28年度> ・諸外国からの訪問団の受入(実績なし)				
	<平成29年度> ・諸外国からの訪問団の受入(実績なし)				
	<平成30年度> ・諸外国からの訪問団の受入				

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				30年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
28決算	0	1,215	1,215	0	0	0	1,215				
29当初予算	440	1,890	2,330	0	0	0	2,330	正規	0.51	アルバイト	0.00
29決算	0	1,890	1,890	0	0	0	1,890	再任用	0.00	その他	0.00
30当初予算	440	4,131	4,571	0	0	0	4,571	任期付	0.00	合計	0.51

29年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	30年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	報償費	通訳謝礼	0		報償費	通訳謝礼	110
	需用費	消耗品費等	0		需用費	消耗品費等	110
	需用費	受入事業委託	0		需用費	受入事業委託	200
	使用料及び賃借料	施設使用料	0		使用料及び賃借料	施設使用料	20
合計			0	合計			440

平成30年度 事務事業点検シート

整理番号	0132301000-013	事務事業名	諸外国との交流事業
------	----------------	-------	-----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			28年度	29年度	30年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							
諸外国との交流を進めることにより、市民の国際交流への理解が深まっている。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
						×
現状の課題・今後の事業展開方針等						
諸外国との交流事業費については、明石市に来られる外国からの賓客を歓迎する際に必要な経費であり、賓客の対応をするのは市として大切な仕事であるため、今後も事業を継続実施する。						

平成30年度 事務事業点検シート

事務事業名	文化博物館運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0132301000 - 014				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計							
	款	総務費							
	項	総務管理費							
	目	文化博物館費							
	事業	文化博物館運営事業							
施策分野	2 教育・文化分野		事業所管課	市民生活局文化・スポーツ室文化振興課					
	2-4 文化芸術の振興		連絡先	(078)918-5607					
個別計画	文化芸術創生基本計画		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 3 年度			
			根拠法令・要綱等	明石市立文化博物館条例・明石市立文化博物館条例施行規則					
			実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
				委託		指定管理	○		

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	明石の歴史や民俗等に対する市民の理解を深めるために当該資料の収集・保管、調査・研究、展示等を進めるとともに、質の高い文化・芸術の提供と鑑賞機会の拡充を図り、さらに発表の場を積極的に提供する施設として、明石市立文化博物館の円滑な運営及び管理を行う。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	展覧会観覧者数	質の高い文化・芸術の提供と鑑賞機会の拡充を図る指標として設定する。	平成30年度	人	67500

事業内容	事業の目的のために、展覧会、貸館業務、施設維持管理業務、その他の業務を行う。				
	①展覧会の実施				
	平成28年度 特別展3回、企画展4回 観覧者数46,819人				
	平成29年度 特別展3回、企画展4回 観覧者数65,161人				
	平成30年度予定 特別展3回、企画展4回 観覧者数67,500人				
	②指定管理者による貸館事業				
	平成28年度 ギャラリー(26件、稼働率93.3%、利用者数19,916人)、会議室(30件、稼働率64.6%、利用者数5,906人)				
	平成29年度 ギャラリー(30件、稼働率85.9%、利用者数22,647人)、会議室(40件、稼働率61.8%、利用者数4,997人)				
	③指定管理者による施設維持管理業務の実施				
	平成28年度 修繕32件				
平成29年度 修繕34件					
④博物館資料の整備					
資料購入数 平成28年度 6件 平成29年度 9件					
寄贈資料の受け入れ 平成28年度 8件 平成29年度 9件					
⑤学校観覧(小・中・特別支援学校)の対応					
指定管理者が実施 平成28年度 70校 平成29年度 73校					
⑥ボランティア育成事業					
平成28年度 登録人数79人、活動延べ人数742人					
平成29年度 登録人数79人、活動延べ人数705人					

事業のコスト (単位: 千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				30年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
28決算	139,806	30,650	170,456	0	0	0	170,456	正規	2.18	アルバイト	0.00
29当初予算	142,542	1,890	144,432	0	0	1,141	143,291	再任用	0.00	その他	0.00
29決算	140,928	1,890	142,818	0	0	1,256	141,562	任期付	0.00	合計	2.18
30当初予算	137,656	17,658	155,314	0	0	1,142	154,172				

区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額
旅費	博物館学芸員等調査・研修等旅費	29	旅費	博物館学芸員等調査・研修等旅費	200
需用費	事務用品等	212	需用費	事務用品等	210
役務費	電話料金等	164	役務費	電話料金等	298
委託料	指定管理料	140,192	委託料	指定管理料	136,476
使用料及び賃借料	コピー使用料	91	使用料及び賃借料	コピー使用料	200
備品購入費	書籍	240	その他	備品購入費、研修参加負担金等	272
合計		140,928	合計		137,656

平成30年度 事務事業点検シート

整理番号	0132301000-014	事務事業名	文化博物館運営事業
------	----------------	-------	-----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			28年度	29年度	30年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	展覧会観覧者数	質の高い文化・芸術の提供と鑑賞機会の拡充を図る指標として設定する。			46,819	65,000	67,500
		平成30年度	人	67500			
指標で表せない成果							
<ul style="list-style-type: none"> ・明石の歴史や明石にゆかりのある作家の展覧会を実施することにより、郷土への理解を深めることに貢献している。また、貸館として市民の文化芸術の交流、発表の場となっている。 ・学校観覧では、実物に触れることで、児童・生徒が学習の理解を深め、新たな興味を抱く場として利用されている。 ・公募で登録された博物館ボランティアによる十二単の着付け体験や機織り体験などの活動により、来館者の満足度の向上、世代間の交流、ボランティアの自己実現など、幅広い成果を創出している。 							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>明石の歴史・文化の調査研究を、市が直接担うことで継続性を担保し、大規模な展覧会、施設の運営、維持管理といった部分を民間のノウハウを活用してより効果的な管理運営を行う業務分割方式の指定管理者制度を平成28年度から導入している。また、指定管理者に対する指導監督体制の見直しを併せて行うことで、経費の縮減も図る。</p> <p>様々な年齢層の市民に対し、質の高い文化芸術に触れ親しむ機会を提供するため、今後も指定管理者のノウハウを活用した展覧会を開催する。また、利用料金収入の一定割合を施設の改善等に充てさせる制度を導入し、利用者への還元を図る。</p> <p>また、博物館内に止まらず、他施設との連携や館外での活動を積極的に行っていく。ボランティアとも更に協力を深め、市民と共に創る博物館を目指す。</p> <p>大会議室については、博物館の事業スペースとしては必須のものであることも踏まえながら、簡易ギャラリーとしての利用などに取り組む。</p>						

平成30年度 事務事業点検シート

事務事業名	文化博物館施設整備事業		新規/継続	新規事業	整理番号	0132301000 - 015				
			分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容							
	款	総務費	事業所管課	市民生活局文化・スポーツ室文化振興課						
	項	総務管理費	連絡先	078-918-5607						
	目	文化博物館費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 30 年度				
	事業	文化博物館施設整備事業	根拠法令・要綱等							
施策分野				実施方法						
個別計画								直営	○	補助・助成
				委託	指定管理					

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）									
	良好な収蔵庫の湿度管理を行い、資料等の品質を保つことにより、市民に対してより質の高い鑑賞機会の提供を行う。									
	成果指標									
指標名		考え方・定義・式				目標年次	単位	目標値		

事業内容	平成30年度									
	<p>①空調機(ACU1~5)の加湿器交換 空調機に付随している加湿器が設置後26年経っており、たびたび故障及び修繕を繰り返していたが、この度、メーカーからのすべての部品の供給が終了し、今後故障しても修繕ができない状況となった。 故障した場合、収蔵庫の湿度管理が困難になり、資料の破損やその価値が著しく損なわれる恐れがある。また、借用している展示品の破損による賠償金支払いの発生が危惧されるため、加湿器の交換を行う。 需用費(修繕料) 5,000千円</p>									

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				30年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
28決算	0	0	0	0	0	0	0	正規	0.18	アルバイト	0.00
29当初予算	0	0	0	0	0	0	0	再任用	0.00	その他	0.00
29決算	0	0	0	0	0	0	0	任期付	0.00	合計	0.18
30当初予算	5,000	1,458	6,458	0	5,000	0	1,458				

29年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	30年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額	
						需用費	空調機加湿器交換	5,000
		合計			0		合計	

平成30年度 事務事業点検シート

整理番号	0132301000-015	事務事業名	文化博物館施設整備事業
------	----------------	-------	-------------

事業 の 成 果	指標名	考え方・定義・式			28年度	29年度	30年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							
指定管理者では対応できない大規模な修繕について市で対応を行い、施設の長寿命化、安心・安全の確保を行っている。							

事業 の 評 価 ・ 今 後 の 方 向 性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
6月に加湿器交換が完了したことにより、スムーズな博物館運営の推進に寄与した。						

平成30年度 事務事業点検シート

事務事業名	市民会館運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0132301000 - 016			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	総務費		事業所管課	市民生活局文化・スポーツ室文化振興課			
	項	総務管理費			連絡先	(078)918-5607		
	目	市民会館費		自治/法定		自治事務	開始年度	昭和 46 年度
	事業	市民会館運営事業						
施策分野	2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興	根拠法令・要綱等	明石市立市民会館条例・同条例施行規則・明石市立西部市民会館条例・同条例施行規則・明石市立公会堂条例・同条例施行規則・明石市立市民ホール条例・同条例施行規則					
個別計画	文化芸術創生基本計画		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
		委託			指定管理	○		

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	市民の福祉の増進を図り、文化の向上に寄与するため、市民ニーズに沿った古典から現代に至る多彩で質の高い文化・芸術の鑑賞及び発表の場を積極的に提供する施設として、円滑な運営及び管理を行う。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	4施設の利用者数	芸術・文化の発表の場としての指標として設定する。	平成30年度	人	349500
自主事業の入場者数	市民ニーズに沿った多彩で質の高い文化・芸術の鑑賞機会の拡充を図る指標として設定する。	平成30年度	人	33380	
事業内容	事業の目的のために、貸館業務、自主事業、施設維持管理業務、その他の業務を行う。				
	①指定管理者による貸館事業の実施 平成28年度 市民会館(2,044件、稼働率50.3%、利用者数216,306人)、西部市民会館(582件、稼働率47.2%、利用者数66,455人) 中崎公会堂(1,051件、稼働率63.9%、利用者数23,795人)、市民ホール(472件、稼働率59.8%、利用者数34,024人) 平成29年度 市民会館(2,067件、稼働率55.0%、利用者数247,823人)、西部市民会館(637件、稼働率53.3%、利用者数71,755人) 中崎公会堂(1,156件、稼働率69.8%、利用者数25,725人)、市民ホール(458件、稼働率59.1%、利用者数32,913人)				
	②指定管理者による自主事業の実施 平成28年度 61公演 88ステージ 観覧者数 43,635人 平成29年度 63公演137ステージ 観覧者数 47,067人				
	③指定管理者による施設維持管理業務の実施 平成28年度 修繕67件(市民会館 37件、西部市民会館 23件、中崎公会堂 6件、市民ホール 1件) 平成29年度 修繕70件(市民会館 40件、西部市民会館 16件、中崎公会堂 12件、市民ホール 2件)				
	④その他の業務 平成28年度 広報紙「しおさい」の発行 100,000部、友の会(302人、法人5団体)、第九合唱団(239人)の育成等の実施 平成29年度 広報紙「しおさい」の発行 102,500部、友の会(252人、法人4団体)、第九合唱団(240人)の育成等の実施				

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				30年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
28決算	172,057	4,050	176,107	0	0	0	176,107	正規	0.18	7人外	0.00
29当初予算	172,024	1,890	173,914	0	0	1,876	172,038	再任用	0.00	その他	0.00
29決算	173,997	1,890	175,887	0	0	869	175,018	任期付	0.00	合計	0.18
30当初予算	164,481	1,458	165,939	0	0	1,911	164,028				

区分(節)	内容	金額	区分(節)	内容	金額	
						委託料
				委託料	指定管理料	164,471
合計				合計		
173,997				164,481		

平成30年度 事務事業点検シート

整理番号	0132301000-016	事務事業名	市民会館運営事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			28年度	29年度	30年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	4施設の利用者数	芸術・文化の発表の場としての指標として設定する。			340,580	349,500	349,500
		平成30年度	人	349500			
	自主事業の入場者数	市民ニーズに沿った多彩で質の高い文化・芸術の鑑賞機会の拡充を図る指標として設定する。			43,635	32,340	33,380
		平成30年度	人	33380			
指標で表せない成果							
長期的な目標に基づいた新たな事業展開や、アウトリーチ、人材育成といった事業の推進が行われている。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>以下の各施設における課題について、指定管理者と協議を行い、解決を図っていく。</p> <p>（市民会館）市内唯一の大規模ホールを有し、明石市を代表する文化施設として開館以来市民に親しまれてきており、文化の息づくまちあかしの実現のため、市の指導監督のもとに指定管理による効率的な運営を行い、文化芸術に親しむ機会を提供する。</p> <p>（中崎公会堂）現在は、武道やダンスの会場に使用されることが多いが、文化財としてその趣きを活かし、明石らしい自主事業の開催や、新たな貸館利用の開拓を行っていく。</p> <p>（西部市民会館）図書館との複合施設であり、明石市西部地区の文化振興の拠点、地域密着型の文化施設として、特にホールの利用促進を図っていく。</p> <p>（市民ホール）中心市街地にあり、交通アクセスが良いが、施設の老朽化の問題があるため、今後施設の在り方を検討していく。</p>						

平成30年度 事務事業点検シート

事務事業名	分室運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0132301000 - 017		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費		事業所管課	市民生活局文化・スポーツ室文化振興課		
	項	総務管理費		連絡先	(078)918-5600		
	目	生涯学習費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 14 年度
	事業	生涯学習センター運営事業		根拠法令・要綱等	明石市生涯学習センター条例、同施行規則		
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他
	2-5 生涯学習の推進			委託		指定管理	
個別計画	生涯学習ビジョン						

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	生涯学習センター分室において、多くの市民が生涯学習に取り組み市民による学習活動、文化活動、市民活動などが活発に行われるよう、施設設備の状態を良好に保ち、使いやすい貸し館運営を行う。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	稼働率	貸し館の年間稼働率 (年間使用数/年間使用可能数)	平成30年度	%	50
利用者数	貸し館の年間利用者数	平成30年度	人	45,000	
事業内容	<平成28年度>				
	① 貸し館運営				
	② 学習活動の支援 ※①、②を合わせた利用件数等 利用件数2,734件、平均稼働率46.8%、利用者数40,883人				
	③ 修繕 ・大会議室ドアクローザー修繕、視聴覚室ロック修繕 ほか				
	<平成29年度>				
	① 貸し館運営				
	② 学習活動の支援 ※①、②を合わせた利用件数等 利用件数2,422件、平均稼働率49.7%、利用者数45,223人				
	③ トイレ水栓等修繕				
	<平成30年度>				
	① 貸し館運営				
② 学習活動の支援					
③ 修繕 ・空調機、水道管補修、受水槽補修、モーター修理					

事業のコスト (単位: 千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				30年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
28決算	420	7,200	7,620	0	0	0	7,620	正規	0.27	アルバイト	5.00
29当初予算	29,669	1,350	31,019	0	0	1,623	29,396	再任用	0.00	その他	0.00
29決算	28,732	1,350	30,082	0	0	1,596	28,486	任期付	0.00	合計	5.27
30当初予算	29,307	11,437	40,744	0	0	2,323	38,421				

区分(節)	内容	金額	30年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
役務費	電信電話料・ピアノ調律代	187		役務費	電信電話料・ピアノ調律代	121
委託料	施設設備維持管理	15,563		委託料	施設設備維持管理	15,588
使用料及び賃借料	コピー、リソ使用料、モップ賃貸借量	116		使用料及び賃借料	コピー、リソ使用料	258
				負担金補助及び交付金	汚水槽負担金	252
合計		28,732		合計		29,307

平成30年度 事務事業点検シート

整理番号	0132301000-017	事務事業名	分室運営事業
------	----------------	-------	--------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			28年度	29年度	30年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	稼働率	貸し館の年間稼働率 (年間使用数/年間使用可能数)			47	50	50
		平成30年度	%	50			
	利用者数	貸し館の年間利用者数			40,883	45,223	45,000
		平成30年度	人	45,000			
指標で表せない成果							
分室の利用による学習活動や文化活動等を通じ市民の学習意欲(機会)の高まりや市民間の繋がりの醸成に貢献している。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
					×	
現状の課題・今後の事業展開方針等						
平成31年度末の閉館に向け、現在使用しているサークル等の活動について今後の活動場所の紹介などの支援を行う。						

平成30年度 事務事業点検シート

事務事業名	文化財保護調査・啓発事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0132301000 - 018			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	教育費		事業所管課	市民生活局文化・スポーツ室文化振興課			
	項	社会教育費			連絡先	(078)918-5629		
	目	社会教育総務費		自治/法定		自治+法定	開始年度	不明
	事業	文化財保護調査・啓発事業						
施策分野	2 教育・文化分野		根拠法令・要綱等	文化財保護法・明石市文化財保護条例・明石市文化財保護条例施行規則・明石市文化財審議会規則				
	2-4 文化芸術の振興			実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="radio"/>
個別計画	あかし教育プラン		委託		<input type="radio"/>	指定管理		

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	市内の文化財を保護するとともに、文化財啓発事業を推進することにより、市民の文化財に対する理解を深める。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	企画展「発掘された明石の歴史展」の入館者数	市内で出土した埋蔵文化財の公開に訪れた来館者の数により市民の文化財に対する関心度を図る指標とする。	平成30年度	人	2000
出前講座「市内の文化財について」の実施回数	市内団体等の要請により行った出前講座の件数により文化財啓発活動の量を示す指標とする。	平成30年度	回	10	

事業内容	<平成28年度>				
	1 文化財審議会の開催(年1回) 2 埋蔵文化財包蔵地除草の実施(4ヶ所各3回) 3 市指定文化財保護に対する補助 4 「発掘された明石の歴史展」の開催 5 出前講座の実施				
	<平成29年度>				
事業内容	1 文化財審議会の開催(年3回) 2 埋蔵文化財包蔵地除草の実施(5ヶ所各3回) 3 県・市指定文化財保護に対する補助 4 「発掘された明石の歴史展」の開催、明石藩関連資料の調査、横河家資料の調査 5 出前講座の実施				
	<平成30年度>				
	1 文化財審議会の開催(年3回) 2 埋蔵文化財包蔵地除草の実施(5ヶ所各3回) 3 県・市指定文化財保護に対する補助 4 「発掘された明石の歴史展」の開催、明石藩関連資料の調査、横河家資料の調査 5 出前講座の実施				

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				30年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
28決算	5,145	7,510	12,655	0	0	548	12,107				
29当初予算	7,593	5,990	13,583	0	0	810	12,773	正規	0.40	アルバイト	0.00
29決算	7,628	5,990	13,618	0	0	468	13,150	再任用	0.00	その他	0.70
30当初予算	10,181	6,010	16,191	0	0	810	15,381	任期付	0.30	合計	1.40

区分(節)	内容	金額	30年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
旅費	市内文化財調査に伴う学識経験者招聘旅費	159		旅費	市内文化財調査に伴う学識経験者招聘旅費	60
需用費	文化財保護調査用フィルム現像、市内文化財標柱修繕等	915		需用費	文化財保護調査用フィルム現像、市内文化財標柱修繕等	439
役務費	文化博物館内執務室及び作業室等電話回線使用料	229		役務費	文化博物館内執務室及び作業室等電話回線使用料	260
委託料	「発掘された明石の歴史展」「明石藩関連資料調査公開」事業等	5,264		委託料	「発掘された明石の歴史展」「明石藩関連資料調査公開」事業等	5,300
その他	市指定文化財補助金等	941		その他	市指定文化財補助金等	3,972
合計		7,628		合計		10,181

平成30年度 事務事業点検シート

整理番号	0132301000-018	事務事業名	文化財保護調査・啓発事業
------	----------------	-------	--------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			28年度	29年度	30年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	企画展「発掘された明石の歴史展」の入館者数	市内で出土した埋蔵文化財の公開に訪れた来館者の数により市民の文化財に対する関心度を図る指標とする。			2,624	2,397	2,500
		平成30年度	人	2000			
	出前講座「市内の文化財について」の実施回数	市内団体等の要請により行った出前講座の件数により文化財啓発活動の量を示す指標とする。			15 (約400人)	12 (約750人)	16 (約1100人)
		平成30年度	回	10			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>地域にある文化財を保護・啓発することは、歴史を活用した地域づくりを進め、それを担う地域住民を育てることができることから、今後もこの事業を積極的に推進することにより、より一層の地域づくり・人づくりに寄与する必要がある。発掘調査によって出土した資料や寄贈を受けた明石藩関連の資料の展示公開を図っていく中で、明石の歴史、文化を多くの人に知ってもらい、郷土への愛着を深めてもらう。また、未来を担う小・中学生にも興味をもってもらおう、体験学習や出前講座等の機会を増やし、次世代に伝統的な歴史、文化を継承していく。</p>						

平成30年度 事務事業点検シート

事務事業名		埋蔵文化財発掘調査事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0132301000 - 019			
				分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計		事業の分割/統合の内容						
	款	教育費		事業所管課	市民生活局文化・スポーツ室文化振興課					
	項	社会教育費		連絡先	(078)918-5629					
	目	社会教育総務費		自治/法定	自治事務	開始年度	不明			
	事業	埋蔵文化財発掘調査事業		根拠法令・要綱等		文化財保護法・明石市文化財保護条例				
施策分野		2 教育・文化分野		実施方法		直営	○	補助・助成		
2-4 文化芸術の振興				委託	○	指定管理				
個別計画		あかし教育プラン								
事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）									
	周知の埋蔵文化財包蔵地内における個人住宅等を建築する際に発掘調査を行い、埋蔵文化財の記録保存化を図る。開発事業に先立ち、遺跡の存否あるいは範囲の確認のための試掘・確認調査を行うことにより、適切な埋蔵文化財の保護措置をとり、円滑な開発事業の推進を図る。									
	成果指標									
	指標名	考え方・定義・式				目標年次	単位	目標値		
事業内容	<p><平成28年度> 明石城武家屋敷跡、魚住古窯跡群等市内一円の埋蔵文化財包蔵地内における個人住宅建設に伴う発掘調査及び市内における遺跡の範囲確認調査を実施する。6件の発掘調査を行った。</p> <p><平成29年度> 明石城武家屋敷跡、魚住古窯跡群等市内一円の埋蔵文化財包蔵地内における個人住宅建設に伴う発掘調査及び市内における遺跡の範囲確認調査を実施する。6件の発掘調査を行った。</p> <p><平成30年度> 明石城武家屋敷跡、魚住古窯跡群等市内一円の埋蔵文化財包蔵地内における個人住宅建設に伴う発掘調査及び市内における遺跡の範囲確認調査を実施する。6件の発掘調査が行われる予定である。</p>									

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				30年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
28決算	5,838	6,450	12,288	4,650	0	0	7,638				
29当初予算	6,719	4,890	11,609	5,100	0	0	6,509	正規	0.40	アルバイト	0.00
29決算	6,467	4,890	11,357	4,500	0	0	6,857	再任用	0.00	その他	0.30
30当初予算	5,919	4,890	10,809	4,650	0	0	6,159	任期付	0.30	合計	1.00

29年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	30年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	報償費		出土資料鑑定謝礼		89	報償費	
旅費		出土資料鑑定に伴う旅費	4	旅費		出土資料鑑定に伴う旅費	5
需用費		発掘調査に伴う消耗品費	434	需用費		発掘調査に伴う消耗品費	374
委託料		発掘作業委託	5,940	委託料		発掘作業委託	5,500
合計			6,467	合計			5,919

平成30年度 事務事業点検シート

整理番号	0132301000-019	事務事業名	埋蔵文化財発掘調査事業
------	----------------	-------	-------------

事業 の 成 果	指標名	考え方・定義・式			28年度	29年度	30年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							
<p>開発事業に先立って確認調査を行うことにより、その調査のデータに基づき、開発業者へ設計変更等を指示し、埋蔵文化財の適切な保護にあたることができている。また、個人住宅の建て替え等による調査では、新たな遺構・遺物が発見され、地域の歴史性の理解を推進している。</p>							

事業 の 評 価 ・ 今 後 の 方 向 性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>埋蔵文化財の発掘調査は、文化財保護法に基づき、市民にとって貴重な財産である埋蔵文化財を保護するために行う事業であり、継続的に行っていく必要がある。成果をより多くの人に知ってもらうよう、展示や出前講座を通して、地域の財産として積極的に公開し、活用の推進を図る。</p>						

平成30年度 事務事業点検シート

整理番号	0132301000-020	事務事業名	埋蔵文化財発掘調査事業(受託分)
------	----------------	-------	------------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			28年度	29年度	30年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							
出土資料の整理を経て、コミセンなどへの出前講座や、展示会などを通して、広く地域住民にその成果を還元することができる。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>文化財保護法に基づき、市民にとって貴重な財産である埋蔵文化財を保護するために行う事業であり、市民の文化や歴史を継承・発展させていくためにも、推進していく必要がある。</p> <p>開発事業に伴う発掘調査の場合、それに要する経費は開発事業者が負担することになっている。開発業者と事前に緊密な調整を行う中で、開発事業者が負担する経費や調査期間の縮減を図り、かつ、埋蔵文化財に関する記録を必要十分な形で後世に伝えていく必要がある。</p>						

平成30年度 事務事業点検シート

整理番号	0132301000-021	事務事業名	埋蔵文化財出土資料整理事業
------	----------------	-------	---------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			28年度	29年度	30年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							
調査成果の公開により、市民の歴史文化に対する理解を促進させることができ、文化財を通して郷土に対する愛着を深めることができる。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
市民にとって貴重な財産である埋蔵文化財を保護するために行う文化財保護法に定められた事業であり、市民の文化や歴史を継承・発展させていくためにも、推進していく必要がある。そのため、貴重な埋蔵文化財を劣化から守り、長期的に活用していくためにも、迅速かつ正確な資料整理が必要であり、その成果として埋蔵文化財発掘報告書を刊行する。また、刊行した報告書を用いて高齢者大学やコミセン、地元自治会等で説明会を開催することにより、市民に広く公開し、地域の歴史・文化の普及・啓発を図っていく。						

平成30年度 事務事業点検シート

事務事業名	市史編さん事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0132301000 - 022				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	教育費		事業所管課	市民生活局文化・スポーツ室文化振興課				
	項	社会教育費			連絡先	(078)918-5629			
	目	社会教育総務費		自治/法定		自治事務	開始年度	平成 25 年度	
	事業	市史編さん事業							
施策分野	2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興		根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法					
個別計画	あかし教育プラン			実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他
					委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	<p>既刊『明石市史』は昭和35年(1960年)に刊行されたものであり、相当の年月が経過している。その間、総合的な歴史研究の進展に加え、明石の歴史を塗り替える新たな貴重な資料も多く発見されており、既存の市史では不十分な内容となっている。そこで、新たな『明石市史』を編さん・刊行する事業を実施し、市史がさまざまな場で活用されることで歴史息づく明石のまちに誇りと愛着をもってもらおうとともに、今でなければ記録しえない地域の歴史についても記録化・保存し後世に伝えることを目的とする。</p>				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
事業内容	<p><平成28年度> 専門委員会に委託し、各部門における資料の収集、調査、研究を行う。また、地域に残る歴史資料をボランティアとともに掘り起こしを行う。 既存歴史資料の洗い出しを行い、調査の過程で明らかになった事業成果について、適宜広報活動・啓発活動に努め、市民に還元した。</p>				
	<p><平成29年度> 専門委員会に委託し、各部門における資料の収集、調査、研究を行う。また、地域に残る歴史資料をボランティアとともに掘り起こしを行う。 既存歴史資料の洗い出しを行い、調査の過程で明らかになった事業成果について、適宜広報活動・啓発活動に努め、市民に還元する。これまでの事業成果をまとめた。</p>				
	<p><平成30年度> 専門委員会に委託し、各部門における資料の収集、調査、研究を行う。また、地域に残る歴史資料をボランティアとともに掘り起こしを行う。 既存歴史資料の洗い出しを行い、調査の過程で明らかになった事業成果について、適宜広報活動・啓発活動に努め、市民に還元する。これまでの事業成果をまとめた市史編さん紀要を発行する。</p>				

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				30年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
28決算	3,974	13,940	17,914	0	0	0	17,914	正規	0.40	アルバイト	1.00
29当初予算	4,100	13,600	17,700	0	0	0	17,700	再任用	0.00	その他	0.80
29決算	5,425	13,600	19,025	0	0	0	19,025	任期付	2.00	合計	4.20
30当初予算	5,100	12,730	17,830	0	0	500	17,330				

区分(節)	内容	金額	30年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
旅費	専門委員会議出席旅費	125	旅費	専門委員会議出席旅費	150	
需用費	コピー用紙代等	7	需用費	コピー用紙代等	50	
役務費	電話回線等使用料	432	役務費	電話回線等使用料	150	
委託料	調査研究委託料	4,620	委託料	調査研究委託料	4,500	
使用料及び賃借料	コピー機使用料	32	使用料及び賃借料	コピー機使用料	50	
合計		5,425		合計		5,100

平成30年度 事務事業点検シート

整理番号	0132301000-022	事務事業名	市史編さん事業
------	----------------	-------	---------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			28年度	29年度	30年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
市史刊行に向けて既存の市史に加わる新たな資料の掘り起しと調査を進めていく。優先度の高いものから効果的に調査しデータを蓄積していく。						

平成30年度 事務事業点検シート

事務事業名	生涯スポーツ支援事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0132302000 - 001			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	教育費	事業所管課	市民生活局文化・スポーツ室スポーツ振興課				
	項	保健体育費	連絡先	(078)918-5624				
	目	保健体育総務費	自治/法定	自治事務	開始年度	不明		
	事業	生涯スポーツ支援事業	根拠法令・要綱等	スポーツ基本法 スポーツ基本計画				
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法	直営	○	補助・助成	○	その他
	2-3 スポーツの振興			委託		指定管理		
個別計画	スポーツ振興計画							

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）							
	市民の皆さまが健康で明るく豊かな社会生活を営むために、スポーツを始めようとする方から競技者まで、市内で行われるスポーツ活動を幅広く支援する。							
	成果指標							
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値			
事業内容	活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)	活動実績		活動見込み			
			28年度	29年度	30年度			
	1 明石市文化・スポーツ振興奨励金の支給	本市のスポーツ選手を支援するため、全国中学校体育大会や全国高等学校総合体育大会等に出場する選手に対し、その活躍を期待することから奨励金を支給する。(H24年度から)	支給対象742人	支給対象778人	支給対象700人(見込)			
	2 全国的スポーツ大会歓迎事業	①全国高等学校軟式野球選手権大会歓迎事業 全国から本市を訪れる選手達に対し、歓迎の意を込めたのぼり旗を県園芸公園協会と同時に設置する。(S56年度から) ②関西大学ビーチバレーボール男女選手権大会歓迎事業 スポーツによるまちのにぎわいづくりに資するため、大規模大会の開催を誘致し、継続開催してもらうよう主催団体に対し、運営補助金を交付する。(H10年度から)	①明石公園南堀沿いに歓迎のぼり旗を設置 出場16校 ②補助金150千円 出場選手138名	①明石公園南堀沿いに歓迎のぼり旗を設置 出場16校 ②補助金150千円 出場選手144名	①明石公園南堀沿いに歓迎のぼり旗を設置 出場16校 ②補助金150千円 出場選手154名			
	3 明石市スポーツ表彰式の開催	本市のスポーツの競技力の向上に資するため、本市のスポーツ振興に功績のあった方や全国大会等で優秀な成績を収めた選手等を表彰し、その功績と成績を称える。(S37年度から)	受賞者129名	受賞者135名	受賞者135名(見込み)			
4 明石市スポーツ振興基金の積立	本市のスポーツ施策を推進していくうえで、今後必要となる支出に備えるための基金を積み立てる。(H24年度から)	積立額10,021千円	積立額10,025千円	積立額10,023千円				

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				30年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
28決算	13,706	6,970	20,676	0	0	0	20,676	正規	0.90	アルバイト	0.00
29当初予算	15,886	8,370	24,256	0	0	45	24,211	再任用	0.00	その他	0.00
29決算	13,715	8,370	22,085	0	0	25	22,060	任期付	0.40	合計	1.30
30当初予算	15,062	8,370	23,432	0	0	50	23,382				

29年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	30年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	文化・スポーツ振興奨励金ほか	2,150		報償費	文化・スポーツ振興奨励金ほか	3,020
	需用費	スポーツ表彰に係るメダル、消耗品、印刷製本費ほか	955		需用費	スポーツ表彰に係るメダル、消耗品、印刷製本費ほか	923
	使用料及び賃借料	コピー使用料、電話使用料ほか	182		使用料及び賃借料	コピー使用料、電話使用料ほか	257
	負担金補助及び交付金	関西大学ビーチバレーボール大会運営補助ほか	153		負担金補助及び交付金	関西大学ビーチバレーボール大会運営補助ほか	155
	積立金	明石市スポーツ振興基金	10,025		積立金	明石市スポーツ振興基金	10,050
	その他	ニュースポーツ用具備品ほか	250		その他	ニュースポーツ用具備品ほか	657
	合計		13,715		合計		15,062

平成30年度 事務事業点検シート

整理番号	0132302000-001	事務事業名	生涯スポーツ支援事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			28年度	29年度	30年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							
<p>全国大会等に出場する選手への激励金の支給やスポーツ賞表彰などの事業は、選手にとって励みとなっており、競技スポーツの振興につながっている。</p> <p>また、ニュースポーツ道具や体力測定器具を貸し出すことにより、地域の皆さまのコミュニティづくりにも役立ち、子どもから大人までスポーツに親しむためのきっかけづくりにつながっている。</p>							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>○本事業における、明石市文化・スポーツ振興激励金の支給や明石市スポーツ賞表彰などは、選手にとって目標であり励みとなっており、競技スポーツの推進を図るため継続して実施する必要がある。</p> <p>○今後も、競技レベルの高い「みる」スポーツのイベントや大会の誘致に努め、賑わいのあるまちづくりに資するよう努めていく。</p>						

平成30年度 事務事業点検シート

事務事業名	生涯スポーツ推進事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0132302000 - 002			
			分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	教育費	事業所管課	市民生活局文化・スポーツ室スポーツ振興課					
	項	保健体育費	連絡先	(078)918-5624					
	目	保健体育総務費	自治/法定	自治事務	開始年度	不明			
	事業	生涯スポーツ推進事業	根拠法令・要綱等	スポーツ基本法 スポーツ基本計画					
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="radio"/>	その他	<input type="checkbox"/>
	2-3 スポーツの振興			委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		
個別計画	スポーツ振興計画								

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）							
	市民の皆さまが、自らの健康・体力の維持増進を図れるよう、スポーツをする機会等を提供し、競技力の向上にも結び付けていよう生涯スポーツの推進を図る。特に子どもにはスポーツをする喜びを味わってもらおう、体力向上・競技力向上に向けたイベント等を開催する。							
	成果指標							
	指標名		考え方・定義・式		目標年次	単位	目標値	
	スポーツ実施率		成人の週1回以上のスポーツ実施率		平成30年度	%	45	
スポーツを行っていない割合		ほとんど運動やスポーツを行っていない成人の割合		平成30年度	%	32		
事業内容	活動名		活動内容 (〇〇するために、〇〇に対し、△△する)		活動実績		活動見込み	
					28年度	29年度	30年度	
	1 ジュニアスポーツ推進事業		①ヴィッセル神戸との連携事業「親子サッカー教室」等の開催 ②プロ野球OB選手による「集まれ！野球っ子」の開催 ③兵庫県自転車競技連盟との連携事業「ジュニア自転車競技教室」 子どもたちに体を動かすことの楽しさを味わってもらおうとともに、憧れや夢を与えることによって運動を続ける意欲を向上させるため、専門性を持った指導者からの調節指導が受けられる教室を開催する。		①年6事業開催 ②年1回開催 ③年6回開催	①年6事業開催 ②年1回開催 ③年6回開催	①年3事業開催 ②年1回開催 ③年6回開催	
	2 市民スポーツ推進事業		①ときめきスポーツライフ推進プラン ②大蔵海岸多目的広場活性化事業 上記は、明石市スポーツ推進委員会などと連携・協働して、気軽に参加できるスポーツのイベントを実施し、運動をする人拡大を図る。また、大蔵海岸多目的広場のにぎわいに資する事業を展開する。		①3事業実施 ②-	①3事業実施 ②-	①3事業実施 ②1事業実施 (バブルサッカー)	
	3 明石市総合体育大会等の開催		明石市体育協会加盟団体ごとによる市内最大のスポーツの祭典である総合体育大会のほか、種目ごとにおける大会を開催し、本市の競技レベルの向上を図る。		参加者数 52,271人	参加見込 52,000人	参加見込 52,100人	
	4 大会開催の支援		実行委員会が開催する明石市小学生駅伝大会やビーチスポーツフェスタなどの大会等に対して補助金を交付して円滑な大会運営を支援することにより、スポーツをする機会提供の継続を図る。		小学生駅伝大会実行委員会を補助	小学生駅伝大会実行委員会とビーチスポーツフェスタ実行委員会等を補助	小学生駅伝大会実行委員会とビーチスポーツフェスタ実行委員会等を補助	
5 ニュースポーツ大会の開催		スポーツ推進委員会が普及に努めているニュースポーツの全市規模の大会を開催し、愛好者のすそ野の拡大を図る。		ショートテニス大会年1回開催	ACEボール大会年1回開催	ACEボール大会年1回開催		

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				30年度人員配置(人)				
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源					
	28決算	9,142	10,790	19,932	0	0	0	19,932				
	29当初予算	9,319	8,910	18,229	0	0	68	18,161	正規	1.10	アルバイト	0.00
	29決算	8,692	8,910	17,602	0	0	37	17,565	再任用	0.00	その他	0.00
30当初予算	8,588	9,720	18,308	0	0	40	18,268	任期付	0.30	合計	1.40	

29年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	30年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	看護師謝礼ほか	274		報償費	看護師謝礼ほか	239
	需用費	総合体育大会開催に係る表彰状印刷ほか	43		需用費	総合体育大会開催に係る表彰状印刷ほか	103
	委託料	総合体育大会開催委託、ジュニアスポーツ推進事業委託ほか	7,250		委託料	総合体育大会開催委託、ジュニアスポーツ推進事業委託ほか	7,000
	役務費	傷害保険料ほか	45		役務費	傷害保険料ほか	66
	使用料及び賃借料	スポーツ大会に係る会場使用料など	0		使用料及び賃借料	スポーツ大会に係る会場使用料など	27
	負担金補助及び交付金	小学生駅伝大会実行委員会への補助ほか	1,080		負担金補助及び交付金	小学生駅伝大会実行委員会への補助ほか	1,153
合計			8,692	合計			8,588

平成30年度 事務事業点検シート

整理番号	0132302000-002	事務事業名	生涯スポーツ推進事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			28年度	29年度	30年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	スポーツ実施率	成人の週1回以上のスポーツ実施率					
		平成30年度	%	45			
	スポーツを行っていない割合	ほとんど運動やスポーツを行っていない成人の割合					
		平成30年度	%	32			
指標で表せない成果							
市民の皆さまが大会や教室に参加することで、健康体力の保持増進が図られるとともに、スポーツをする人のすそ野の拡大や、ひいては競技力の向上につながっている。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>○本事業は、全ての市民を対象とし、スポーツをする機会を提供することにより健康・体力の維持増進に努めながらスポーツをする人のすそ野の拡大を図ること、また、一方で各種大会等を開催して本市の競技レベルの向上を図ることを目的としている。</p> <p>○子どもの体力向上が全国的な課題となっており、子どもたちにスポーツや運動をする楽しさを体験できるイベントを開催することにより、スポーツや運動を継続して行う習慣づくりのきっかけを提供していく必要がある。そのため、明石市体育協会との連携、明石市スポーツ推進委員会との協働での事業展開をはじめ、ヴィッセル神戸及び兵庫県自転車競技連盟など、より専門的な指導方法や知識をもった団体との連携による事業委託などを積極的に展開していくこととする。</p> <p>○市民誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味・目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる事を目的とし、今後も「明石市スポーツ振興計画」における「スポーツや運動をする人のすそ野の拡大」「子どものスポーツ・運動機会の拡大」の重点施策に取り組んでいく。</p>						

平成30年度 事務事業点検シート

事務事業名	スポーツ推進委員活動事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0132302000 - 003		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	教育費					
	項	保健体育費					
	目	保健体育総務費					
	事業	スポーツ推進委員活動事業					
施策分野	2 教育・文化分野		事業所管課				
	2-3 スポーツの振興						
個別計画	スポーツ振興計画		連絡先				
			自治/法定		自治事務		
			開始年度		昭和 37 年度		
			根拠法令・要綱等				
			スポーツ基本法 スポーツ基本計画				
			実施方法		直営		
			委託		○ 補助・助成		
			指定管理		その他		

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	スポーツ基本法第32条に基づき設置されたスポーツ推進委員が、各地域のニーズに応じたスポーツ活動を行うことによりコミュニティづくりに貢献することを目的として、スポーツの実技指導をはじめ、スポーツに関する指導及び助言、さらに地域と行政とのコーディネーターとしての活動ができるように支援する。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
年間活動回数	スポーツ推進委員会としての一年間の活動回数	平成30年度	回	70	

活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)	活動実績		活動見込み
		28年度	29年度	30年度
1 スポーツ推進委員会との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱人数 H28・29年度:29名 H30・31年度:29名 (任期2年) ・報酬 月額6,400円 ・市民の誰もが気軽に体を動かし、楽しめる機会を提供するため、ニュースポーツ教室や親子で運動遊び体験などを開催する。 ・それぞれの委員や専門部会での活動状況を共有するため、明石市スポーツ推進委員会全体会を開催する。 ・より専門的で効果的な活動を行うため、委員会の中に3つの専門部会(事業部会、研修部会、広報部会)を設置し、全体会への提案事項を審議する。 ・委員会の活動状況を広く市民の皆さんに知っていただき、地域でのスポーツ活動の推進につなげていけるよう、広報紙「ときめきスポーツライフ」を発行する。 	委員会活動回数71回	委員会活動回数81回	委員会活動回数70回(見込み)
2 委員の資質向上のための各種研修会への参加促進	<ul style="list-style-type: none"> ・東、北播磨地区スポーツ推進委員研修会 ・兵庫県スポーツ推進委員中央研究協議会 ・近畿スポーツ推進委員研究協議会 ・全国スポーツ推進委員研究協議会 	それぞれの研修に参加	それぞれの研修に参加	それぞれの研修に参加

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				30年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
28決算	2,699	9,140	11,839	0	0	0	11,839				
29当初予算	2,762	9,720	12,482	0	0	0	12,482	正規	1.00	アルバイト	0.00
29決算	2,603	9,720	12,323	0	0	0	12,323	再任用	0.00	その他	0.00
30当初予算	3,062	8,910	11,972	0	0	0	11,972	任期付	0.30	合計	1.30

区分(節)	内容	金額	30年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
旅費	スポーツ推進委員旅費	220	旅費	スポーツ推進委員旅費	309	
需用費	広報紙印刷用紙ほか	14	需用費	広報紙印刷用紙ほか	379	
役務費	スポーツ安全保険料	54	役務費	スポーツ安全保険料	58	
負担金補助及び交付金	スポーツ推進委員連絡協議会分担金ほか	88	負担金補助及び交付金	スポーツ推進委員連絡協議会分担金ほか	88	
合計		2,603		合計		3,062

平成30年度 事務事業点検シート

整理番号	0132302000-003	事務事業名	スポーツ推進委員活動事業
------	----------------	-------	--------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			28年度	29年度	30年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	年間活動回数	スポーツ推進委員会としての一年間の活動回数			71	81	70
		平成30年度	回	70			
指標で表せない成果							
スポーツ推進委員が、各地域で取り組んでいるニュースポーツ教室や体力測定会などで指導助言及び、連絡調整を行うことで、地域スポーツの推進が図られている。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
○子供や、特にスポーツ実施率が低いとされる働き盛り・子育て世代、そして高齢者などへ事業に参加していただくことで、スポーツ人口の裾野を拡大を目指す。 ○地域でのスポーツ活動を維持、継続そして発展していくために、スポーツ推進委員は重要な位置づけであることから、今後も市と協働で活動していく。 ○スポーツ推進委員が、自主的に連携して小学校区コミセンなどを会場としたニュースポーツ教室や親子で楽しむスポーツ体験会などを実施し、市内各地域のスポーツ活動の推進に貢献できる環境づくりに努める。						